

トモシアグループ「春の冷食祭り」

応募総数137%と大幅増加

トモシアホールディングスはこのほど都内で「第31回春の冷凍食品祭り抽選会」を開いた。

荒木 章社長（写真中央右）、竹内孝久副社長（旭食品社長、同中央左）、谷口英樹取締役（カナカン社長、同左端）、堀内剛博取締役（丸大堀内社長、同右端）ら首脳陣が出席した。主催者あいさつで荒木社長は、「冷凍食品祭りも第31回という歴史を積み重ねている。現代では美味しき、



事業は仕入販売などベクトルを合わせて、早期に一本化していきたい」などと語った。また協力メーカーを代表してテンプルマーク吉澤明治常務執行役員営業本部長があいさつし、「31回継続していること」「トモシアグループの結束力の強さでCP期間中全国で伸びた」などを語った。対象店舗は全国2315店（前年比1

コスト、タイプ、安全性など広く国民に浸透し、ジュニアからシルバーまであらゆる世代から支持されている。トモシアでも伸びており、24年度も売上高1686億円、112・1%とされている。今回の応募総数も前年比137・5%で、改めて長らくキャンペーンを継続し、メーカー各社と取り組み、魅力を伝えてきたことが数字として現れている。今後のグループの冷食事業は仕入販売などベクトルを合わせて、早期に一本化していきたい」などと語った。

00・7%）。うち北陸674店舗・121・2%、関東561店舗・101・3%、近畿・中部525店舗・85・4%がベスト3。期間中（4月1日～5月31日、協力メーカー18社）の冷凍食品売り上げは、トモシア合計で118・09億

円（前年比100・3%）、うち旭食品102・22億円（100・0%）、カナカン15・01億円（102・7%）、丸大堀内8700万円（92・9%）。増減は帳合の増減による影響や得意先配送センター変更によるものが主因。全体の商品売上高ベスト10は、①味の素冷凍食品「ギョーザ12個276g」②ニチレイフーズ「本格炒め炒飯450g」③ニチ

レイフーズ「特から380g」④イトアンドフーズ「羽根つき餃子295g」⑤ニッスイ「大きな大きな焼おにぎり480g」⑥味の素冷凍食品「ザシユウマイ9個」⑦テンプルマーク「ごつつ旨いお好み焼300g」⑧トロナジヤパン「すき家牛丼の具70g×3」⑨ニチレイフーズ「ミニハンバーグ120g」⑩マルハニチロ「あおり炒めの焼豚炒飯450g」の

順。またキャンペーン応募総数は8万4674口（137・5%）で、ビンゴコース4万9967口（129・7%）、SNS投稿コース1625口（134・1%）、レシート投稿コース3万3082口（151・4%）。応募数の増加は、キャンペーン告知の強化が最大の要因で、WEBサイト・雑誌掲載、店頭告知の強化に

よるもの。デジタル形式での抽選会では、スマートビンゴコース・SNS投稿コースが、A賞アクア家具冷蔵庫「LOOC」10名、B賞パナソニック電気圧力鍋20名、レシート投稿コースJCBギフトカード2000円を300名、電子マネーギフト2000円を300名など景品は首脳陣らが参加して抽選した。（松丸浩二）

中国・天馬科技「ご褒美うなぎ」披露

総発売元は旭食品

中国の天馬科技集団は（本社＝福建省福州市）はこのほど、ホテルオークラ東京で日本市場向け新ブランド「ご褒美うなぎ」記者発表会を開いた。

日本での販売パートナーは提携関係の旭食品で、海外事業本部の奥大智氏も出席した。発表会では、チェ・チャンポウ天馬科技天馬食品本部長（写真・中央右）が、「本日はご褒美うなぎの発表だけでなく、天馬科技グループの戦略的展開と将来のビジョン、日本市場への重要な一歩である日本法人を設立したことも紹介したい」とあいさつ。

続いて日本法人の和田正洋社長（同左）が会社概要と「ご褒美うなぎ」を紹介。同社は中国・福建省に1100万㎡の広大な養殖拠点を構え、うなぎに関わるすべての工程を最先端の環境管理技術を駆使し、高品質かつ安定的なうなぎの生産体制を確立。製品は日本をはじめ世界60以上の国と地域に輸出、日本には31年連続で供給。日本の中国産うなぎの年間輸入量は約5万トン。うち約2000トンを提供し単独企業輸出量第1位の実績を持つなど。その上で「天馬グルー

プのうなぎは、日本の伝統を重んじながら、最新鋭の技術を導入して作った、伝統と革新が融合した商品。今後は商品展開だけでなく、様々な取り組みを通じてユーザーと繋がって信頼を築いていきたい」などと語った。

また奥氏（同右）は「得意とするスーパーでの販売を主軸に、家庭の食卓へ『天馬のご褒美うなぎ』が最高の品質と鮮度と安心をもつて届くよう、弊社の強固なネットワークとノウハウを最大限活用する」などと話した。



「ご褒美うなぎ」は8月から全国のスーパー・コンビニ・百貨店などで順次販売を開始（活鰻、冷凍の蒲焼き、白焼き、真空パックほか。業務用も扱う）。価格帯は2500～4000円（標準蒲焼きセット1人前）。（M）

「ご褒美うなぎ」は8月から全国のスーパー・コンビニ・百貨店などで順次販売を開始（活鰻、冷凍の蒲焼き、白焼き、真空パックほか。業務用も扱う）。価格帯は2500～4000円（標準蒲焼きセット1人前）。（M）

「ご褒美うなぎ」は8月から全国のスーパー・コンビニ・百貨店などで順次販売を開始（活鰻、冷凍の蒲焼き、白焼き、真空パックほか。業務用も扱う）。価格帯は2500～4000円（標準蒲焼きセット1人前）。（M）

「ご褒美うなぎ」は8月から全国のスーパー・コンビニ・百貨店などで順次販売を開始（活鰻、冷凍の蒲焼き、白焼き、真空パックほか。業務用も扱う）。価格帯は2500～4000円（標準蒲焼きセット1人前）。（M）

